

平成25年度「在宅医療連携拠点事業」講演会

一人一人の人生を支えることは、

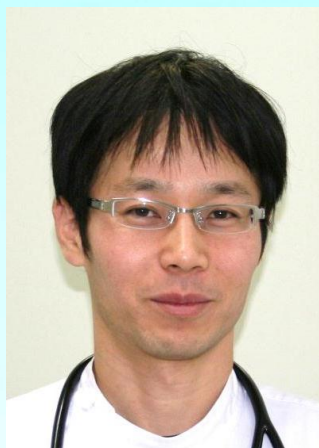
地域につながりを残すこと

そして、残されたつながりが地域を支える

講師

小松裕和先生

(JA長野厚生連 佐久総合病院地域ケア科医長)



【プロフィール】

平成14年3月 岡山大学医学部医学科卒業。
JA長野厚生連佐久総合病院初期研修、岡山大学大学院博士課程(疫学・衛生学)修了。
平成21年4月 JA長野厚生連佐久総合病院地域ケア科で在宅医療に従事。
平成24年4月 現職、在宅医療連携拠点事業(佐久総合病院)責任者となる。

【兼任】

長野県医師会在宅医療推進委員会副委員長
佐久医師会在宅医療推進委員会委員
佐久市医療介護連携推進協議会委員
佐久総合病院医療介護連携推進委員会委員
地域ケアネットワーク佐久代表世話人

医療や介護に従事している多くの人が感じていることがあります。
一人一人の生活、最期までの時間を支えるには、医療や介護の専門職だけでなく、ご家族・ご親戚や地域のボランティアの方など、たくさんの方がさまざまな面に関わります。

その際にできた人と人とのつながりや共感、支援していた方がお亡くなりになっても、ご遺族となった方や地域の関係者の中でずっと残っていきます。

そして、残されたつながりや共感、その後も地域の多くの人をやさしく包んでくれているように感じるのです。

それはお亡くなりになった方がいたからこそできたつながりであり、その人が残してくれた大切な贈り物のようでもあります。

開催日

平成26年2月16日(日)

14時00分～16時00分(開場13時30分)

会場

佐久間歴史と民話の郷会館ホール

(駐車場：150台)



(お問い合わせは下記担当まで)

〒431-3492 浜松市天竜区渡ヶ島221

天竜厚生会医療保健事業部 在宅医療連携拠点事業事務局 藤澤

Tel:053-583-1405 / Fax:053-583-1258

主催：平成25年度在宅医療連携拠点事業